

「歯科患者を診るためのイントロダクション」 (IDP : Introduction to the Dental Patient)

(H24年4月6日～9月28日)

コース責任者 (主) 工藤義之、野田守、泉澤充

担当講座 (分野) 担当 Director

- : 歯学教育部門 (ODE) 長 佐藤和朗特任講師
- : 総括科目責任者 3 コース主責任者 八重柏隆准教授
- : 歯科保存学講座 (う蝕治療学分野) 工藤義之准教授
- : 口腔顎顔面再建学講座 (歯科放射線学分野) 小豆嶋正典教授
- : 歯科保存学講座 (歯周療法学分野) 村井治助教
- : 補綴・インプラント学講座 古屋純一准教授
- : 口腔顎顔面再建学講座 (口腔外科学分野) 青村知幸助教、八木正篤助教
- : 口腔顎顔面再建学講座 (口腔外科学分野) 星秀樹准教授
- : 口腔顎顔面再建学講座 (歯科麻酔学分野) 佐藤雅仁准教授
- : 口腔医学分野 (予防歯科学分野) 阿部晶子特任講師
- : 口腔保健育成学講座 (歯科矯正学分野) 間山寿代助教
- : 口腔保健育成学講座 (小児歯科学分野) 斎藤亮講師
- : 解剖学講座 (機能形態学分野) 藤村朗教授
- : 解剖学講座 (発生生物・再生医学分野) 藤原尚樹講師
- : 微生物学講座 (分子微生物学分野) 下山 佑助教
- : 生理学講座 (病態生理学分野) 成田欣弥講師

第3学年 後期

講義 実習・他

69.0 時間 102.0 時間

一般目標 (講義・実習)

歯科患者を診察するために歯科医師として必要な基本的な知識、技術、態度を修得する。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月6日(金) 1限	ODE (歯学教育部門長) 佐藤和朗特任講師 1コース主責任者 工藤義之准教授	1～7コースと1コースの概要 1～7コースと1コースの内容と合格基準について理解する。	1. 1～7コースの目標をについて説明できる。 2. 1～7コースの概要を説明できる。 3. 1～7コースの評価法について説明できる。 4. 1コースの目標について説明できる。 5. 1コースの内容について説明できる。 6. 1コースの実習について説明できる。 7. 1コースの評価法について説明できる。
4月6日(金) 2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	診療姿勢 (3F実習室:348,349) 正しい診療姿勢について理解する。	1. 適切な診療姿勢をとることができる。 2. ドクターズツールの高さを調節できる。 3. ホームポジションをとることができる。 4. ハンドピースの3種の持ち方を説明できる。 5. レストの置き方を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月6日(金) 3限	若林香枝助教 (歯科矯正学)	実習説明 印象と模型作製 印象採得法と並行模型作製法について理解する。	1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材が説明できる。 3. 平行模型の作製法を説明できる。
4月6日(金) 4限	東海林理講師 (歯科放射線学)	歯科診療におけるエックス線撮影 実習説明 口内法エックス線撮影の手技を習得する。	1. 二等分法について説明できる。 2. 正放線投影について説明できる。 3. 口内法撮影の手順を列挙できる。 4. 撮影の失敗とその原因について説明できる。
4月13日(金) 1限	佐々木大輔助教 (歯周療法学)	歯の診査、歯周チャート・咬合診査（保存）	1. 歯周ポケット診査の目的を説明できる。 2. 歯周ポケット診査に必要な器具が説明できる。 3. 咬合診査の目的を説明できる。 4. 咬合診査に必要な器具・器材を説明できる。
4月13日(金) 2限	根津尚史講師 (医療工学)	口腔状態の記録に用いる歯科材料1 印象と模型の製作に用いる歯科材用の種類と、精密な口腔内模型を作製するための取り扱い上の留意点を理解する。	1. 口腔内模型作製の目的を説明できる。 2. 口腔内模型作製の工程と用いる材料（印象材、石膏）を説明できる。 3. 模型の用途に応じた印象材、石膏の選択を説明できる。 4. 印象採得の技術に関わる諸因子（トレーの種類と取り扱い、印象材の物性）を説明できる。 5. 石膏の取り扱いに関する技術上の留意事項（練和、注入、消毒、保管）を説明できる。
4月13日(金) 3限	根津尚史講師 (医療工学)	口腔状態の記録に用いる歯科材料2 咬合状態の記録に用いる歯科材料、器具の種類と特徴を理解する。	1. 咬合採得の目的を説明できる。 2. 咬合採得に用いる材料と器具の種類を説明できる。 3. 咬合検査の目的を説明できる。 4. 咬合検査に用いる材料と器具の種類を説明できる。
4月13日(金) 4限	藤原英明助教 (歯周療法学)	歯周病患者へのイントロ（リスクファクター、全身への影響） 歯周病のリスクファクターと全身への影響を理解する。	1. 歯周疾患の発炎症因子を説明する。 2. 歯周疾患の外傷性因子を説明する。 3. 歯周疾患の全身的因子を説明する。 4. 歯周病のリスクファクターについて説明する。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月20日(金) 1、2限	三浦廣行教授 ※清野幸男准教授 金野吉晃講師 佐藤和朗講師 飯塚康之助教 間山寿代助教 水川卓磨助教 若林香枝助教 (歯科矯正学) 佐々木大輔助教 (歯周療法学) 東海林理講師 (歯科放射線学)	グループ別実習 G1：印象&模型作製 (外来) 印象採得法と模型作製法について理解する。 G2：口腔診査・咬合診査・歯周チャート (外来) 歯周ポケットを適切に測定し、歯周病の病態を正確に把握する技術を修得する。 G3：放射線(読影室) 口内法エックス線撮影の手技を習得する。 G4,5,6:グループ学習	1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材が説明できる。 3. 平行模型の作製法を説明できる。 1. 適切なポケットプローブを選択できる。 2. 限られた時間内に、適切な姿勢・挿入角度・圧力で歯周ポケットを測定・記録できる。 3. 得られたデータをもとに病態を正確に説明できる。 2階の病理・組織実習室または3階の実習室の半分) 1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。 1. 与えられた課題を解決できる
4月20日(金) 3限	古屋純一准教授 (補綴・インプラント学)	歯の修復・補綴が必要な患者についての導入 歯の欠損と欠損補綴の基本を理解する。	1. 歯の欠損に伴う顎口腔系の変化を説明できる。 2. 歯の欠損と補綴治療の目的、臨床的意義を説明できる。
4月20日(金) 4限	藤村朗教授 (機能形態学)	解剖学(口腔内臓)保存・補綴に必要な印象採得の解剖学	1. 口腔粘膜の表面構造を説明できる。 2. 粘膜下の骨構造を説明できる。 3. 粘膜下組織の構造を説明できる。
4月27日(金) 1限	野田守教授 (う蝕治療学)	歯の修復が必要な患者についての導入 歯の修復を必要とする疾患と治療法について理解する。	1. 歯の修復の原因を説明できる。 2. 歯の修復法を列挙し説明できる。 3. 保存修復学の概要を説明できる。
4月27日(金) 2限	成石浩司准教授 (う蝕治療学)	歯内療法が必要な患者についての導入 歯内疾患の概要と治療法について理解する。	1. 歯内疾患の原因を説明できる。 2. 歯内療法の流れを説明できる。 3. 歯内療法学の概要を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月27日(金) 3限	水城春美教授 (口腔外科学)	口腔外科序論 口腔外科の概要について理解する。	1. 口腔外科学の体系を概説できる。 2. 歯科医療における口腔外科学の意義を述べることができる。
4月27日(金) 4限	八木正篤助教 (口腔外科学)	口腔外科診断学 診察法 口腔外科の診察において必要な診察法を習得する。	1. 診察法の種類を列挙できる。 2. 基本的な診察法の概略を説明できる。 3. 診察に必要な器材を列挙できる。 4. 視診の項目を列挙できる。 5. 触診の項目を列挙できる。
5月11日(金) 1限	三浦廣行教授 (歯科矯正学)	正常咬合と不正咬合について 正常咬合の概念と不正咬合の表現法を理解する。	1. 正常咬合の概念を説明できる。 2. 正常咬合が成立し保持される条件を説明できる。 3. 歯列と咬合について説明できる。 4. 不正咬合の客観的な表現法を説明できる。
5月11日(金) 2限	工藤義之准教授他 (う蝕治療学)	医療コミュニケーション1 医療情報収集 (医療面接) 医療面接の目的、意義、手技を理解する。	1. 医療面接の目的と方法を説明する。 2. 医療面接の心得を説明する。 3. 主訴の定義、種類を説明する。 4. 主訴に対する現病歴の医療面接の仕方を説明する。 5. 既往歴(全身、口腔関連領域)について説明する。
5月11日(金) 3限	星秀樹准教授 (口腔外科学)	顎口腔領域の悪性腫瘍 顎口腔領域の悪性腫瘍の特徴について習得する。	1. 顎口腔領域の悪性腫瘍の臨床的特徴を説明できる。 2. 顎口腔領域の悪性腫瘍の治療法を説明できる。
5月11日(金) 4限	八木正篤助教 (口腔外科学)	口腔外科診断学 診察法 口腔外科の診察において必要な診察法を習得する。	1. 診察法の種類を列挙できる。 2. 基本的な診察法の概略を説明できる。 3. 診察に必要な器材を列挙できる。 4. 視診の項目を列挙できる。 5. 触診の項目を列挙できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
5月18日(金) 1限	飯塚康之助教 (歯科矯正学)	歯科矯正学および歯科矯正治療の意義 歯科矯正学および歯科矯正治療の意義について理解する。	1. 歯科矯正学の定義を説明できる。 2. 歯科矯正学の目的と意義を説明できる。 3. 矯正治療の目的と意義を説明できる。 4. 不正咬合によって生じる障害を列挙できる。
5月18日(金) 2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学) 泉澤充講師 (歯科放射線学)	グループ学習 (課題提示)	1. 与えられた課題を解決できる。
5月18日(金) 3、4限	佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	全身疾患、全身管理と歯科診療の関係 歯科診療と全身疾患とのかかわりについて理解する。	1. 歯科診療の侵襲が全身に及ぼす影響について説明する。 2. 全身疾患についての情報収集法を説明する。 3. 歯科診療時注意すべき全身疾患を列挙する。 4. 全身疾患を有する患者への対処法を説明する。
5月25日(金) 1限	田中光郎教授 (小児歯科学)	小児歯科の導入、行動アセスメント(小児)口腔診査 小児の特徴を把握し、それに対応した歯科医療を理解する。	1. 小児歯科の目的を説明できる。 2. 小児の歯科保健医療を説明できる。 3. 歯科診療に対する小児の心理反応を説明できる。 4. 小児に対する一般的な対応法を列挙できる。 5. 小児の口腔診査の内容を説明できる。
5月25日(金) 2限	工藤義之准教授他 (う蝕治療学)	医療コミュニケーション2 医療情報収集(歯科体系、専門用語、主訴、既往歴、現病歴)について理解する。	1. 診療録の意義を説明する。 2. 診療録に記載する項目について説明する。 3. 歯式の記入法を説明する。 4. 歯式に用いる略語を説明する。 5. 主訴の定義、種類を説明する。 6. 主訴に対する現病歴の医療面接の仕方を説明する。 7. 既往歴(全身、口腔関連領域)について説明する。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
5月25日(金) 3、4限	三浦廣行教授 ※清野幸男准教授 金野吉晃講師 佐藤和朗講師 飯塚康之助教 間山寿代助教 水川卓磨助教 若林香枝助教 (歯科矯正学) 村井 治助教 (歯周療法学) 東海林理講師 (歯科放射線学)	グループ別実習 G4：印象&模型作製 (外来) 印象採得法と模型作製法について理解する。 G5：口腔診査・咬合診査・歯周チャート (外来) 歯周ポケットを適切に測定し、歯周病の病態を正確に把握する技術を修得する。 G1 の 2/3,6：放射線(読影室) 口内法エックス線撮影の手技を習得する。 G2,3：グループ学習	1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材が説明できる。 3. 平行模型の作製法を説明できる。 1. 適切なポケットプローブを選択できる。 2. 限られた時間内に、適切な姿勢・挿入角度・圧力で歯周ポケットを測定・記録できる。 3. 得られたデータをもとに病態を正確に説明できる。 2 階の病理・組織実習室または 3 階の実習室の半分) 1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。 1. 与えられた課題を解決できる
6月1日(金) 1、2限	三浦廣行教授 ※清野幸男准教授 金野吉晃講師 佐藤和朗講師 飯塚康之助教 間山寿代助教 水川卓磨助教 若林香枝助教 (歯科矯正学) 金澤智美助教 (歯周療法学) 工藤義之准教授 (う蝕治療学)	グループ別実習 G2：印象&模型作製 (外来) 印象採得法と模型作製法について理解する。 G3：口腔診査・咬合診査・歯周チャート (外来) 歯周ポケットを適切に測定し、歯周病の病態を正確に把握する技術を修得する。 G1,4,5,6：グループ学習	1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材が説明できる。 3. 平行模型の作製法を説明できる。 1. 適切なポケットプローブを選択できる。 2. 限られた時間内に、適切な姿勢・挿入角度・圧力で歯周ポケットを測定・記録できる。 3. 得られたデータをもとに病態を正確に説明できる。 1. 与えられた課題を解決できる

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
6月1日(金) 3、4限	下山佑助教 (分子微生物学)	インフェクションコントロール 歯科治療に必要な滅菌消毒法および感染予防について理解する。	1. 院内感染について説明できる。 2. 主要な滅菌消毒法の種類と概要を説明できる。 3. 主要な微生物の感染経路とその遮断法を説明できる。
6月8日(金) 1、2限	三浦廣行教授 ※清野幸男准教授 金野吉晃講師 佐藤和朗講師 飯塚康之助教 間山寿代助教 水川卓磨助教 若林香枝助教 (歯科矯正学) 藤原英明助教 (歯周療法学) 東海林理講師 (歯科放射線学)	グループ別実習 G5：印象&模型作製(外来) 印象採得法と模型作製法について理解する。 G6：口腔診査・咬合診査・歯周チャート(外来) 歯周ポケットを適切に測定し、歯周病の病態を正確に把握する技術を修得する。 G1の1/3, G4：放射線(読影室) 口内法エックス線撮影の手技を習得する。 G1,2,3：グループ学習	1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材が説明できる。 3. 平行模型の作製法を説明できる。 1. 適切なポケットプローブを選択できる。 2. 限られた時間内に、適切な姿勢・挿入角度・圧力で歯周ポケットを測定・記録できる。 3. 得られたデータをもとに病態を正確に説明できる。 2階の病理・組織実習室または3階の実習室の半分) 1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。 1. 与えられた課題を解決できる
6月8日(金) 3限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	医療コミュニケーション3 医療情報収集 医療面接 医療面接の意義と実施方法を理解する。	1. 医療面接の目的と方法を説明する。 2. 医療面接の心得を説明する。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
6月8日(金) 4限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	医療コミュニケーション4 患者へのアプローチ 患者に対する歯科医の心構えを理解するとともに、診断の基本について理解する。	1. 患者に接するときの心構えを説明する。 2. 良医(歯科医)の条件を説明する。 3. 患者と疾患との関連を説明する。 4. インフォームドコンセントの定義と重要性を説明する。 5. 診断に必要な診査事項を説明する。 6. 診断の方法を説明する。 7. 医療情報の収集法を説明する。
6月15日(金) 1、2限	三浦廣行教授 ※清野幸男准教授 金野吉晃講師 佐藤和朗講師 飯塚康之助教 間山寿代助教 水川卓磨助教 若林香枝助教 (歯科矯正学) 佐々木大輔助教 (歯周療法学) 東海林理講師 (歯科放射線学)	グループ別実習 G3：印象&模型作製 (外来) 印象採得法と模型作製法について理解する。 G1：口腔診査・咬合診査・歯周チャート (外来) 歯周ポケットを適切に測定し、歯周病の病態を正確に把握する技術を修得する。 G2：放射線(読影室) 口内法エックス線撮影の手技を習得する。 G4,5,6:グループ学習	1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材が説明できる。 3. 平行模型の作製法を説明できる。 1. 適切なポケットプローブを選択できる。 2. 限られた時間内に、適切な姿勢・挿入角度・圧力で歯周ポケットを測定・記録できる。 3. 得られたデータをもとに病態を正確に説明できる。 2階の病理・組織実習室または3階の実習室の半分) 1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。 1. 与えられた課題を解決できる
6月15日(金) 3限	藤村朗教授 (機能形態学)	解剖学(口腔内臓) 口腔粘膜表面構造と骨学 エックス線解剖学	1. 口腔粘膜下の骨構造を触診できる。 2. エックス線写真で描出される構造を骨学的に説明できる。
6月15日(金) 4限	藤原尚樹講師 (発生生物・再生医学)	歯周組織の構造について (口腔内診査, 研究用模型, エックス線検査に関係する組織構造を理解する)	1. 歯周組織の構造を説明できる。 2. セメント質・歯根膜・歯槽骨の関係を説明できる。 3. セメントエナメル境、接合上皮の構造について説明できる。 4. 歯槽骨の構造とエックス線写真との関連を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
6月22日(金) 1、2限	三浦廣行教授 ※清野幸男准教授 金野吉晃講師 佐藤和朗講師 飯塚康之助教 間山寿代助教 水川卓磨助教 若林香枝助教 (歯科矯正学) 金澤智美助教 (歯周療法学) 東海林理講師 (歯科放射線学)	グループ別実習 G6: 印象&模型作製 (外来) 印象採得法と模型作製法について理解する。 G4:口腔診査・咬合診査・歯周チャート (外来) 歯周ポケットを適切に測定し、歯周病の病態を正確に把握する技術を修得する。 G5:放射線(読影室) 口内法エックス線撮影の手技を習得する。 G1,2,3 グループ学習	1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材が説明できる。 3. 平行模型の作製法を説明できる。 1. 適切なポケットプローブを選択できる。 2. 限られた時間内に、適切な姿勢・挿入角度・圧力で歯周ポケットを測定・記録できる。 3. 得られたデータをもとに病態を正確に説明できる。 2階の病理・組織実習室または3階の実習室の半分) 1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。 1. 与えられた課題を解決できる
6月22日(金) 3、4限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	グループ学習 発表会	1. 与えられた課題を解決できる。 2. 調べたことを聞き手に分かりやすく説明できる。
6月29日(金) 1、2限	清野幸男准教授 (歯科矯正学)	印象&模型作製 グループごとに作製した模型をもとに発表 1班 20分×6 質疑, まとめ講義 印象採得法と模型作製法について理解する。	1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材が説明できる。 3. 平行模型の作製法を説明できる。
6月29日(金) 3、4限	東海林理講師 (歯科放射線学)	グループ実習発表会 放射線撮影 グループごとにエックス線を読影し発表 1班 20分×6 質疑, まとめ講義 口内法エックス線撮影の手技を習得する。	1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。 1. 与えられた課題を解決できる

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
7月6日(金) 1,2限	藤原英明助教 (歯周療法学)	グループ実習発表会 口腔診査・咬合診査・ 歯周チャート グループごとに検査 結果をもとに発表 1班20分×6 質疑, まとめ講義 歯周ポケットを適切 に測定し、歯周病の病 態を正確に把握する 技術を修得する。	1. 適切なポケットプローブを選択できる。 2. 限られた時間内に、適切な姿勢・挿入 角度・圧力で歯周ポケットを測定・記 録できる。 3. 得られたデータをもとに病態を正確に 説明できる。
7月6日(金) 3,4限	工藤義之准教授 (う蝕治療学) 小豆嶋正典教授 (歯科放射線学)	中間試験1 (形成的評価)	1. 4/6～7/6の講義実習で修得したことを 時間内に説明できる。
8月31日(金) 1,2限		自主学习(出席確認な し)	
8月31日(金) 3,4限	工藤義之准教授 (う蝕治療学) 小豆嶋正典教授 (歯科放射線学)	中間試験2 (形成的評価)	1. 4/6～7/6の講義実習で修得したことを 時間内に説明できる。
9月3日(月) 1限	水城春美教授 (口腔外科学)	歯科医療における安 全性への配慮と危機 管理① 安全性の確保 コアカリ A-5-1) 歯科医療における安 全性への配慮と危機 管理における安全性 の確保について理解 する。	1. 歯科医療における事故の特異性を説明 できる。 2. 実際の医療には、多職種が多段階の医療 業務内容に関与していることを具体的 に説明できる。 3. 医療上の事故等を防止するには、個人の 注意力はもとより組織的なリスク管理 が重要であることを説明できる。 4. 医療現場における報告・連絡・相談およ び診療記録記載の重要性について説明 できる。 5. 医療の安全性に関する情報(薬剤等の副 作用、薬害や医療過誤等の事例(経緯を 含む)、やってはいけないこと、優れた 取組事例等)を共有し、事後に役立てる ための分析の重要性を説明できる。 6. 医療機関における医療安全管理体制の 在り方(事故報告書、インシデントリポ ート、リスク管理者、事故防止委員会、 事故調査委員会等)を概説できる。 7. 医療の安全性確保のため、職種・段階に 応じた能力向上の必要性を説明できる。 8. 医療関連感染症の原因および回避する 方法を概説できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月3日(月) 2限	水城春美教授 (口腔外科学)	歯科医療における安全性への配慮と危機管理② 医療上の事故等への対処と予防 コアカリ A-5-1) 歯科医療における安全性への配慮と危機管理における医療上の事故等への対処と予防について理解する。	1. 医療事故と医療過誤の違いを説明できる。 2. 医療上の事故等（インシデント（ヒヤリハット）、医療過誤等を含む）の事例の原因を分析し、防止対策を説明できる。 3. 医療上の事故等（インシデント（ヒヤリハット）、医療過誤等を含む）が発生した時の緊急処置や記録、報告について説明できる。 4. 医療過誤に関連して歯科医師に科せられた社会的責任と罰則規定（行政処分、民事責任、刑事責任、司法解剖）の基本的事項を説明できる。 5. 基本的予防策（ダブルチェック、チェックリスト法、薬品名称の改善、フェイルセーフ・フルプルーフの考え方など）について概説できる。
9月3日(月) 3、4限	小豆嶋正典教授 東海林理講師 (歯科放射線学)	ラジウムの発見から今日まで 放射線同位元素(RI)についての基礎的知識とPET、PIXEの原理について理解する。	1. RIの発見に至る歴史的背景を説明できる。 2. RI、ベクレル(Bq)、キュリー(Ci)について説明できる。 3. PET、PIXEについて説明できる。 (サイクロトロンセンターの見学を行う。クラスを前・後半に分け9月3日は前半、9月10日は後半の学生が対象となる)
9月4日(火) 1、2限	藤村朗教授 鍵谷忠慶助教 安藤禎紀助教 (機能形態学) 清水尚技工士長 (歯科技工部)	ワックスアップの基本技術 ワックスアップの基本技術を修得する。 (3F 実習室: 348,349)	1. ワックスアップに使用する器具、材料を説明できる。 2. ワックスアップの手順を説明できる。
9月4日(火) 3、4限	藤村朗教授 鍵谷忠慶助教 安藤禎紀助教 (機能形態学) 浅川剛吉助教 両川明子助教 (小児歯科学) 清水尚技工士長 (歯科技工部)	実習 下顎第一乳臼歯 (2F 実習室: 248)	1. 下顎第一乳臼歯の形態を描き、さらに立体的に表現できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月5日(水) 1限	藤村朗教授 (機能形態学)	機能的口腔解剖 1. 咀嚼に関わる解剖を理解する。	1. 咀嚼筋の種類と機能を説明できる。 2. 咀嚼筋に関連する骨学を説明できる。 3. 顎関節の運動を説明できる。 4. 顎関節と歯の形態、顎運動を説明できる。
9月5日(水) 2限	田邊憲昌助教 (補綴・インプラント学)	下顎運動概論 下顎位と下顎運動を理解する。	1. 咬頭嵌合位と偏心位を説明できる 2. 下顎安静位の定義と臨床的意義を説明できる。 3. 下顎限界運動と機能運動を説明できる
9月5日(水) 3、4限	藤村朗教授 鍵谷忠慶助教 安藤禎紀助教 (機能形態学) 補綴系教員 (3名) 清水尚技工士長 (歯科技工部)	実習 上顎(第一)小臼歯 (3F 実習室: 348,349)	1. 上顎小臼歯の形態を描き、さらに立体的に表現できる。
9月6日(木) 1限	青村知幸助教 (口腔外科学)	顎関節症概論(定義、分類) TMD について理解する。	1. 顎関節症の症状を列挙できる。 2. 顎関節症の病態を説明できる。 3. 顎関節症の診断基準を説明できる。 4. 顎関節症の症型分類を説明できる。
9月6日(木) 2限	熊谷章子助教 (口腔外科学)	顎顔面痛患者のイントロ 顎顔面痛について理解する。	1. 口腔顔面痛発症の機序を説明できる。 2. 口腔顔面痛を起こす疾患を列挙できる。 3. さまざまな疼痛の違いを説明できる。
9月6日(木) 3、4限	藤村朗教授 鍵谷忠慶助教 安藤禎紀助教 (機能形態学) 齋藤亮講師 浅川麻美助教 (小児歯科学) 清水尚技工士長 (歯科技工部)	実習 上顎乳中切歯 (3F 実習室: 348,349)	1. 上顎乳中切歯の形態を描き、さらに立体的に表現できる。
9月7日(金) 1限	成田欣弥講師 (病態生理学)	顎運動に関与する感覚(顎間関係) 顎運動によって生じる感覚と顎運動を調節する感覚について理解する。	1. 咬合および咀嚼に関与する感覚の受容器と伝導路を説明できる。 2. これらの感覚が咀嚼運動に及ぼす影響について説明できる。 3. 下顎安静位の維持に働く感覚と反射について説明できる

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月7日(金) 2限	藤村朗教授 鍵谷忠慶助教 安藤禎紀助教 (機能形態学) 補綴系教員(3名) 清水尚技工士長 (歯科技工部)	補足実習 上顎中切歯 上顎小臼歯 下顎小臼歯 (3F実習室:348,349)	1. 情報伝達的手段として、永久歯全歯種の形態を描ける。
9月7日(金) 3限		自主学習(主席確認なし)	
9月7日(金) 4限		自主学習(主席確認なし)	
9月10日(月) 1限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	医療コミュニケーション5 診療録の記載 診療録の意義、質の高い診療録の記載方法を理解する。	1. POSについて説明する。 2. SOAPについて説明する。 3. 診療録と医療訴訟説明する。
9月10日(月) 2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	医療コミュニケーション6 患者へのアプローチ 患者に対する歯科医の心構えを理解するとともに、診断の基本について理解する。	1. 患者に接するときの心構えを説明する。 2. 良医(歯科医)の条件を説明する。 3. 患者と疾患との関連を説明する。 4. インフォームドコンセントの定義と重要性を説明する。 5. 診断に必要な診査事項を説明する。 6. 診断の方法を説明する。 7. 医療情報の収集法を説明する。
9月10日(月) 3、4限	小豆嶋正典教授 東海林理講師 (歯科放射線学)	ラジウムの発見から 今日まで 放射線同位元素(RI)についての基礎的知識とPET、PIXEの原理について理解する。	1. RIの発見に至る歴史的背景を説明できる。 2. RI、ベクレル(Bq)、キュリー(Ci)について説明できる。 3. PET、PIXEについて説明できる。 (サイクロトロンセンターの見学を行う。クラスを前・後半に分け9月3日は前半、9月10日は後半の学生が対象となる)
9月11日(火) 1、2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学) 他指導者4人	実習試験② 医療面接実習試験 (3F実習室:348,349)	1. 指定された時間内に、初診時医療面接を行うことができる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月11日(火) 3、4限	藤村朗教授 鍵谷忠慶助教 安藤禎紀助教 (機能形態学) 補綴系教員 (3名) 清水尚技工士長 (歯科技工部)	実習 下顎(第一)大臼歯 (3F実習室:348,349)	1. 上顎大臼歯の形態を描き、さらに立体的に表現できる。
9月12日(水) 1限	岸光男特任准教授 (予防歯科学)	健康の概念・疾患の疫学 1. 健康の概念を理解する。 2. 疾患の疫学を理解する。	1. 健康の概念を説明できる。 2. 口腔と全身の健康との関連を説明できる。 3. 疾患の概念を説明できる。 4. 口腔疾患、主に齲蝕、歯周疾患の疫学的特徴を説明できる。
9月12日(水) 2限	根津尚史講師 (医療工学)	鑄造用パターン材料 鑄造用パターン(原型)として歯冠部の形態を精密に再現するワックスの特性と取り扱い上の留意点を理解する。	1. 鑄造(ロストワックス法)におけるワックスの役割(パターン材料)を説明できる。 2. 鑄造用パターン作製に用いるインレーワックスの所要性質を説明できる。 3. 他の歯科用ワックスと比較したインレーワックスの特徴を説明できる。 4. インレーワックスの成分、技工上重要なワックスの性質を説明できる。 5. ワックスアップの方法と用いる器具、ワックスの取り扱い上の注意点を説明できる。
9月12日(水) 3、4限	藤村朗教授 鍵谷忠慶助教 安藤禎紀助教 (機能形態学) 補綴系教員 (3名) 清水尚技工士長 (歯科技工部)	実習 上顎(第一)大臼歯 (3F実習室:348,349)	1. 下顎大臼歯の形態を描き、さらに立体的に表現できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月13日(木) 1、2、3、4限	<p>小豆嶋正典教授 東海林理講師 (歯科放射線学)</p> <p>三浦廣行教授 ※清野幸男准教授 金野吉晃講師 佐藤和朗講師 飯塚康之助教 間山寿代助教 水川卓磨助教 若林香枝助教 (歯科矯正学)</p> <p>村井治助教 金澤智美助教 藤原英明助教 佐々木大輔助教 (歯周療法学)</p>	<p>実習試験① (外来) エックス線撮影(一人 2枚)</p> <p>印象採得</p> <p>ポケット測定</p> <p>6グループに分かれ て2日間 外来&2F&放射</p>	<p>以下の項目を規定時間内に実施できる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。 <p>以下の項目を規定時間内に実施できる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材が説明できる。 3. 平行模型の作製法を説明できる。 <p>以下の項目を規定時間内に実施できる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 適切なポケットプローブを選択できる。 2. 限られた時間内に、適切な姿勢・挿入角度・圧力で歯周ポケットを測定・記録できる。 3. 得られたデータをもとに病態を正確に説明できる。
9月14日(金) 1、2、3、4限	<p>小豆嶋正典教授 東海林理講師 (歯科放射線学)</p> <p>三浦廣行教授 ※清野幸男准教授 金野吉晃講師 佐藤和朗講師 飯塚康之助教 間山寿代助教 水川卓磨助教 若林香枝助教 (歯科矯正学)</p> <p>村井治助教 金澤智美助教 藤原英明助教 佐々木大輔助教 (歯周療法学)</p>	<p>実習試験① (外来) エックス線撮影(一人 2枚)</p> <p>印象採得</p> <p>ポケット測定</p> <p>6グループに分かれ て2日間 外来&2F&放射</p>	<p>以下の項目を規定時間内に実施できる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。 <p>以下の項目を規定時間内に実施できる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材が説明できる。 3. 平行模型の作製法を説明できる。 <p>以下の項目を規定時間内に実施できる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 適切なポケットプローブを選択できる。 2. 限られた時間内に、適切な姿勢・挿入角度・圧力で歯周ポケットを測定・記録できる。 3. 得られたデータをもとに病態を正確に説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月18日(火) 1、2限	藤村朗教授 鍵谷忠慶助教 安藤禎紀助教 (機能形態学) 補綴系教員 (3名) 清水尚技工士長 (歯科技工部)	実習 上顎中切歯 (3F 実習室: 348,349)	1. 上顎中切歯の形態を描き、さらに立体的に表現できる。
9月18日(火) 3、4限	野田守教授 工藤義之准教授 熊谷啓二助教 千田弥栄子助教 浅野明子助教 柳谷隆仁助教 岡田伸男助教 志賀華絵助教 (う蝕治療学)	実習試験 医療面接実習試験 (循環器 8F 研修室)	1. 指定された時間内に、初診時医療面接を行うことができる。
9月19日(水) 1、2限	藤村朗教授 鍵谷忠慶助教 安藤禎助教 (機能形態学)	補足実習 該当学生以外は自主 学習 (3F 実習室: 348,349)	1. 永久歯全歯種の形態を描ける。 2. 乳歯全歯種の形態を描ける。
9月19日(水) 3、4限	藤村朗教授 鍵谷忠慶助教 安藤禎助教 (機能形態学) 補綴系教員 (3名) 清水尚技工士長 (歯科技工部)	実習 下顎(第一)小臼歯 (3F 実習室: 348,349)	1. 下顎小臼歯の形態を描き、さらに立体的に表現できる。
9月20日(木) 1、2限	藤村朗教授 鍵谷忠慶助教 安藤禎助教 (機能形態学) 補綴系教員 (3名) 齋藤亮講師(1名) (小児歯科学) 清水尚技工士長 (歯科技工部)	補足実習 該当学生以外は自主 学習 (3F 実習室: 348,349)	1. 永久歯全歯種の形態を描ける。 2. 乳歯全歯種の形態を描ける。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月20日(木) 3、4限		自主学习(出席確認なし)	
9月21日(金) 1、2限	藤村朗教授 鍵谷忠慶助教 安藤禎紀助教 (機能形態学)	実習試験③ (3F 実習室: 348,349)	1. 指定されて時間内に永久歯・乳歯全歯種の形態を描き、さらに立体的に表現できる。
9月21日(金) 3、4限		自主学习(出席確認なし)	
9月24日(月) 1、2限	小豆嶋正典教授 東海林理講師 (歯科放射線学) 三浦廣行教授 ※清野幸男准教授 金野吉晃講師 佐藤和朗講師 飯塚康之助教 間山寿代助教 水川卓磨助教 若林香枝助教 (歯科矯正学) 村井治助教 (歯周療法学)	補足実習 (外来) エックス線撮影 印象採得 歯周検査 該当学生以外は 自主学习	2階の病理・組織実習室または3階の実習室の半分) 1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。 1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材が説明できる。 3. 平行模型の作製法を説明できる。 1. 適切なポケットプローブを選択できる。 2. 限られた時間内に、適切な姿勢・挿入角度・圧力で歯周ポケットを測定・記録できる。 3. 得られたデータをもとに病態を正確に説明できる。 1. 与えられた課題を解決できる
9月24日(月) 3、4限	野田守教授 工藤義之准教授 熊谷啓二助教 千田弥栄子助教 浅野明子助教 柳谷隆仁助教 岡田伸男助教 志賀華絵助教 (う蝕治療学)	実習試験 医療コミュニケーション 医療面接実習 (3F 実習室: 348,349)	1. 指定されて時間内に、初診時医療面接を行うことができる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月25日(火) 1、2限	藤村朗教授 鍵谷忠慶助教 安藤禎紀助教 (機能形態学)	補足実習 エックス線撮影 印象採得 歯周検査 医療面接 ワックスアップ 該当学生以外は 自主学習 (外来) (3F 実習室: 348,349)	該当学生以外は 自主学習
9月25日(火) 3、4限		自主学習 (出席確認なし)	
9月26日(水) 1、2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学) 清野幸男准教授 (歯科矯正学) 泉澤充講師 (歯科放射線学) 八重柏隆准教授 (歯周療法学)	補足実習 エックス線撮影 印象採得 歯周検査 医療面接 該当学生以外は 自主学習 (外来)	該当学生以外は 自主学習
9月26日(水) 3、4限	工藤義之准教授 (う蝕治療学) 清野幸男准教授 (歯科矯正学) 泉澤充講師 (歯科放射線学) 八重柏隆准教授 (歯周療法学)	補足実習 エックス線撮影 印象採得 歯周検査 医療面接 ワックスアップ 該当学生以外は 自主学習 (外来)	該当学生以外は 自主学習
9月27日(木) 1限		自主学習 (出席確認なし)	
9月27日(木) 2限		自主学習 (出席確認なし)	
9月27日(木) 3限		自主学習 (出席確認なし)	

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月27日(木) 4限		自主学习 (出席確認なし)	

コース最終試験

月 日	担 当		
9月28日(金) 1限	野田守教授 工藤義之准教授 (う蝕治療学) 泉澤充講師 (歯科放射線学)	最終試験 1	講義内容ならびに関連項目①
9月28日(金) 2限		最終試験 2	講義内容ならびに関連項目②
9月28日(金) 3限		最終試験 3	実習内容ならびに関連項目
9月28日(金) 4限		最終試験 4	グループ学習ならびに関連項目

教科書・参考書 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書) 歯周分のみ掲載、他は未編集

	書 名	著者氏名	発行所	発行年
教	臨床歯周病学	吉江 弘正ほか 編	医歯薬出版	2007年
参	標準歯周病学第4版	鴨井 久一ほか 編	医学書院	2005年
参	失敗しない歯周外科	小方 頼昌・國松 和司 共著	クインテッセンス出版	2007年
推	歯周病専門用語集	日本歯周病学会 編	医歯薬出版	2007年
推	審美再建歯周外科カラー アトラス第3版	E.S.コーエン 編 鴨井久一 監 訳	西村書店	2009年
推	臨床歯科理工学	宮崎隆ほか編	医歯薬出版	2006年
推	岩手医科大学付属病院歯 科医療センター 院内感染防止マニュアル III			
教	歯科矯正学	相馬邦道ほか 編	医歯薬出版	2008年
参	矯正装置ビジュアルガイド	後藤滋己ほか 編	医歯薬出版	2004年
参	矯正装置の製作ガイド —基礎知識と技工—	北總征男ほか 編	東京臨床出版	2005年

	書名	著者氏名	発行所	発行年
参	メディカル・インタビュー マニュアル第3版:医師の 本領を生かすコミュニケ ーション技法	福井次矢 監修	インターメディ カ	2002年
参	POSによる歯科診療録の 書き方	日野原 重明 監修	医歯薬出版	2005年
参	臨床口腔診断学	内山 洋一ほか編	国際医書出版	1994年
参	総合口腔診断学	増田 屯 編	砂書房	1996年
参	でんたるこみゆにけーし ょん: 歯科医療面接総論	山田 隆文	学建書院	2007年
教	小児の口腔科学 2版	前田 隆秀ほか 著	学建書院	2009年
参	小児歯科学 総論・各論全 2巻	山下 浩 編	医歯薬出版	総論 1977年 各論 1980年
参	臨床小児歯科学	長坂 信夫 編	南山堂	1990年
参	現代小児歯科学 改訂5版	黒須 一夫 編	医歯薬出版	1994年
参	小児の口腔軟組織疾患: 診 断アトラス	甘利 英一、武田 泰典 著	医学情報社	1995年
参	簡明小児歯科学	大森郁朗 著	医歯薬出版	1996年
参	新小児歯科学	祖父江 鎮雄ほか 著	医歯薬出版	2001年
参	小児歯科学 第3版	赤坂守人ほか 著	医歯薬出版	2007年
推	臨床における画像診断ア トラス	日本歯科放射線学会 編	医歯薬出版	2008年
推	口腔解剖学	脇田稔ほか 編	医歯薬出版	2009年
推	口腔解剖学 1~5	上條雍彦 編	アナトーム社	2005年

成績評価方法

講義、実習のいずれとも合格したものを合格とする。

講義：すべての講義群①～③の試験成績 65 点以上を合格とする。欠席に応じて減点する。

実習：実習評点 65 点以上を合格とする。

印象、模型作製実習：実習過程で評価する。

口腔診査・咬合診査・歯周チャート実習：実習過程で評価する。

放射線実習：実習過程と実習試験で評価する。

医療面接実習：知識（実習内容の理解）、技術（コミュニケーションスキル、情報収集）、態度（身だしなみ、歯科医師としての礼節のある行動、積極性）で評価する。

講義；試験の成績で 65 点以上を合格とする。

実習；すべての実習に出席し、すべての提出物を提出し、検印を受け、実習評価が 65 点以上を合格とする。

実習に対する知識（実習内容を理解することができる）、技術（実習内容に則した手技ができる）、積極性（実習意欲があり積極的に行動することができる）、礼節（礼儀正しい話し方ができ責任ある行動ができる）を評価の対象とする。

なお、講義、実習ともに欠席、遅刻に応じて減点する。

講義と実習の両者が合格した場合を合格とする。

オフィスアワー

氏名	方式	曜日	時間帯	備考
三浦廣行	A-i	月～金	12:00～13:30 15:30～18:00	不在のときはメモを教授室のポストへ入れること。
田中光郎	B-i	月～金		
藤村 朗	A-i	月～金	随時	矢巾のため、メールにて対応 akifuji@iwate-med.ac.jp
工藤義之	B-i	月～金		
八重柏隆	A-i	月～金	17:00～19:00	不在の時はメモを部屋に入れる。
成石浩司	B-i	月～金		不在の時はメモを部屋に入れる。
齋藤 亮	B-i	月～金		
東海林理	B-i	月～金		不在の時は教職員に伝言のこと。
間山寿代	B-i	月～木	18:00～20:00	不在のときは教室員に伝言のこと
下山 佑	B-i	月～金		不在の時は教職員に伝言のこと。
根津尚史	A-i	月～金	9:00～18:00	不在の時は教職員に伝言のこと。
成田欣也	B-i	月～金		時間があいていればいつでも可。 e-mail でも対応可 knarita@iwate-med.ac.jp
青村知幸	B-i	月～金	18:00～20:00	不在の時は教室員に伝言のこと。
水城春美	B-i	月～金	18:00～20:00	不在の時は教室員に伝言のこと。
熊谷章子	B-i	月～金	18:00～20:00	不在の時は教室員に伝言のこと。
八木正篤	B-i	月～金	18:00～20:00	不在の時は教室員に伝言のこと。
星 秀樹	B-i	月～金	18:00～20:00	不在の時は教室員に伝言のこと。
佐藤雅仁	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言のこと。
古屋純一	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言のこと。
飯塚康之	B-i	月～金		空いていれば随時。不在のときは教室員に伝言のこと
若林香枝	A-i	月～木	18:00～20:00	不在のときは教室員に伝言のこと